

シラネアオイの植栽について

◇シラネアオイについて



シラネアオイ（白根葵）
学名：Glaucidium palmatum
Siebold et Zucc.

キンポウゲ科（シラネアオイ科として分けることも多い）シラネアオイ属の多年草の1種。深山の植物。日本固有種の1属1種である。



北海道から本州中北部の日本海側にかけての山地帯と亜高山帯のやや湿り気のあるところに分布している。高さは20-30 cm。花期は5-7月頃。花弁はなく、7 cmほどの淡い紫色の大きな萼片が4枚あり、大変美しい姿をしている。

（wikipediaより）

◇シラネアオイの群生地がある野反湖

野反湖は群馬・長野・新潟3県の県境に位置し、周囲を2,000メートル級の山々に囲まれ、湖面標高1,513メートル、水深25メートル、周囲10キロメートルのダム湖です。



初夏から初秋にかけての湖岸は、シラネアオイ、ノゾリキスゲ、レンゲツツジ、ヤナギラン、

コマクサなど、300種類以上の高山植物が彩り、秋には紅葉を湖面に映し出します。



◇シラネアオイ植栽の歴史

野反湖周辺にかつて自生していたシラネアオイの群落を復元しようと、復元活動が続けてきた故山口雄平氏の提案で、平成8年から毎年行っている。現在は、長男の山口和雄氏が跡を継ぎ、育てた苗を寄付している。



昭和31年以前の野反池



故山口雄平氏



山口和雄氏

- 平成 5年 六合中学校開校（入山中・旧六合中が統合）
山口雄平氏の指導により、八間山にコマクサを植栽始まる
- 平成 8年 2年生によるシラネアオイの植栽活動始まる
- 平成11年 3年生によるシラネアオイの観察始まる
- 平成16年 山口雄平氏、78才で他界
その後、山口和雄氏（雄平氏長男）が活動を引き継ぐ
- 平成17年 シラネアオイ植栽 累計約58,000株達成
- 平成19年 1年生によるシラネアオイの苗掘り始まる
- 平成29年 シラネアオイ植栽 累計約87,000株達成
- 平成30年 森林レクリエーション協会主催（会長 三浦雄一郎）
第30回森林レクリエーション地域美しの森づくり
活動コンクール表彰（全国）



生徒数減少により平成25年度より、作業は1・2年生合同で行うようになりました。

◇全校でシラネアオイ観察（毎年5月下旬から6月上旬）

花が咲く頃、昨年度植えた苗はどうなっているか観察に行きます。3年生はこの観察が最後の活動になります。後の作業は、1・2年生に任せます。



◇1・2年生による苗掘り（毎年9月中旬）

山口和雄さんが裏山の畑で育てている苗を掘りに行きます。葉を落とし10株ずつ束ねます。六合支所の方々と一緒に作業し、千株以上の苗を準備できました。



◇1・2年生による植栽活動（毎年9月下旬）

たくさんのボランティアの方々と一緒に八間山登山道を10分ほど登った斜面に植えます。苗を植えて土をかぶせた後、枯れ葉を乗せて、寒さよけの“布団”にします。

